

1. 研究課題名：

地球規模の気候変動リスク管理戦略の構築
に関する総合的研究

2. 研究代表者氏名及び所属：

江守 正多 ((独)国立環境研究所)



3. 研究実施期間：平成 24～28 年度

4. 研究の趣旨・概要

国連気候変動枠組条約における国際交渉においては、産業化以前からの世界平均気温の上昇が 2°C を超えるべきではないという科学的見解が認識されているが、そのような厳しい気候安定化目標を達成するために必要な温室効果ガス削減の見通しは立っていない。この矛盾をどう解決していくかは人類にとって大きな課題である。本研究では、気候変動の多様なリスク、対策の多様な選択肢、水・食料・生態系等の諸問題との関連性、および社会のリスク認知・価値判断を総合的に把握しながら、リスク管理の視点から人類の取りうる戦略を検討する。これにより、科学的・社会的に合理性の高い戦略の選択肢を提示し、国内外の気候変動政策に貢献する。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 地球規模の気候変動リスク管理戦略の総合解析に関する研究
((独)国立環境研究所、(株)野村総合研究所、東京大学)
- ② 気候変動リスク管理に向けた土地・水・生態系の最適利用戦略
((独)国立環境研究所、茨城大学、(独)農業環境技術研究所)
- ③ クリティカルな気候変動リスクの分析に関する研究
(東京大学、東京工業大学、筑波大学、北海道大学、(独)海洋研究開発機構)
- ④ 技術・社会・経済の不確実性の下での気候変動リスク管理オプションの評価
(東京理科大学、上智大学、(財)地球環境戦略研究機関、
(財)エネルギー総合工学研究所、(独)国立環境研究所)
- ⑤ 気候変動リスク管理における科学的合理性と社会的合理性の相互作用に関する研究
(東京大学、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)、大阪大学)

6. 研究のイメージ

地球規模の気候変動リスク管理戦略の構築に関する総合的研究

